

<認知症対応型共同生活介護用>  
<小規模多機能型居宅介護用>

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	8
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	2
5. 人材の育成と支援	0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	6
1. その人らしい暮らしの支援	4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	20

事業所番号	1490700018
法人名	社会福祉法人 秀峰会
事業所名	グループホーム 銀らんの丘
訪問調査日	平成23年11月18日
評価確定日	平成24年1月23日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

### ○項目番号について

外部評価は20項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[次ステップに向けて期待したい内容]

次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1490700018	事業の開始年月日	平成18年11月1日	
		指定年月日	平成18年11月1日	
法人名	社会福祉法人 秀峰会			
事業所名	グループホーム 銀らんの丘			
所在地	( 235-0013 ) 横浜市磯子区広地町11-41			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	<input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成23年11月11日	評価結果 市町村受理日	平成24年3月2日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

同地区内に複数の施設が隣接しており地域の方々の理解や協力がある環境に恵まれているものの、1階がデイサービス事業所である為、グループホームとしては自由に入りができ難いハード面であり閉鎖的になり勝ちですが、夏祭りなどの行事には地域の方の多数のご参加を頂き盛況の内に終えることができました。近隣ケアプラザの施設見学の受け入れや公園への散歩等で地元の方と触れ合う機会を設けて地域に馴染む努力もしており、また、実習生の受け入れも積極的に行い外部の方からの空気をいれるようにしております。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8SYビル2F		
訪問調査日	平成23年11月18日	評価機関 評価決定日	平成24年1月23日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

①経営母体は名を地域に定着させている秀峰会、テーマは「天に星、地に花、人に愛」でこれに沿った確固たる理念があり、これを勿論、事務所の目立つ所に掲示すると共に、パンフレット、名刺においても記載され、一貫した介護ポリシーで関係事業所全体に展開している。理念の周知については法人のTV朝礼、申し送り、カンファレンスで機会ある毎に行い、職員携帯票(羅針盤)に記載して名札と共に携帯し常に心がける糧としている。ここはJR根岸駅からバスで7~8分の住宅地の中にある。洒落た個人住宅の多い地域ではあるが、隣がマンションであり建物の違和感は全く無い。1Fがデイサービス、2F・3Fが2ユニットのグループホームとなっている。新管理者は構造的に生活の場としての感覚を作りにくい2F・3Fのスペースを、如何に生活観に溢れる空間に出来るかをテーマとして考え、楽しんでもらえる環境、精神的に安定出来る環境作りを目指し、そのための職員教育、風通しの良いコミュニケーションの充実を図っている。備品の配置も使いやすいう皆で検討し、改善を進めている。安全な生活を保ちつつ自由な生活が出来るバランスのとれたホームを目指している。

②地域との関係では、連帯の輪を広げると云う理事長の方針に沿い、関係する岡村、滝頭両町内会と交流があり、それぞれの町内会より催しに参加へのお誘いを頂いている。滝頭地域ケアプラザが近くにあり、介護特集の地域福祉施設見学ではここをグループホームの見学コースとして組み込んで頂いている。また、ホームの行事では、1Fのデイサービスと共催で、ご家族も参加して、バーベキュー、お花見会等、特に夏祭りは近所の子供達も参加し、ご利用者と一緒に料理作りを行っている。クリスマス会も大々的に実施し、ご利用者に好評を得ている。

③医療の関係では、秀峰会で設立したみずほクリニックの先生に月2回、訪問して頂いている。歯科医は毎週1回訪問を受け診療している。看護師は法人の看護師が週1回出勤している。必要に応じて医療保険による訪問マッサージの訪問も受入れている。ご家族からの要望があれば、みずほクリニック以外の対応も可能である。介護計画については秀峰会グループホーム共通のフォーマットを活用し、個別ケアで、個々に平均的に、格差の無い介護に努め、利用者の出来ることを見つけ、実施し、笑顔が出るような介護を目指している。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム銀らんの丘
ユニット名	2F

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまにある
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまに
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	<input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている
	<input type="radio"/> 3, あまり増えていない
	<input type="radio"/> 4, 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	カンファレンス等で理念の読みあわせを行い、支援の指針となるよう意識付けている。折に触れ理念のもつ意味の説明を行い共通理解し実践につなげられる様に働きかけを行っている。	理念は羅針盤に纏め、名札入れに入れて携帯し常に見られるようにしている。朝礼で、理念の唱和を行い、カンファレンス等で理念の読みあわせを行い、支援の指針となるよう意識付けている。理念のもつ意味を説明し、理解・浸透をさせている。カンファレンスでは利用者の実例を介して話し合い、問題行動とその裏にある思いを知り、理念に沿った対応を実践している。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の商店を利用し、公園への散歩等で顔なじみの関係作る様にしている。	自治会では関連のある岡村、滝頭両町内会と交流があり、それぞれの町内会より催しに参加へのお誘いを頂いている。滝頭地域ケアプラザが近くにあり、介護特集の地域福祉施設見学ではここをグループホームの見学コースとして組み込んで頂いている。また、ホームの行事では、1Fのデイサービスと共催で、ご家族も参加して、バーベキュー、お花見会等、特に夏祭りは近所の子供達も参加し、ご利用者と一緒に料理作りを行っている。クリスマス会も大々的に実施し、ご利用者に好評を得ている。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域ケアプラザの施設見学会の受け入れを行い、その際の質問等にお応えしながら認知症への理解を促し、施設利用への抵抗感が軽減されるように働きかけを行っている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を定期的に行えるように努力している。施設自体や高齢者支援に関する質問に対してお応えしながらご意見いただいたことを現場に反映させていくよう努力している	運営推進会議は定期的（3～4ヶ月に1回）に行っており施設の行事報告や現況報告を行ない、ご家族からの意見も伺っている。施設自体や高齢者支援に関する質問に対してお応えしながらご意見頂いた事を現場に反映させていくよう努力している。メンバーは自治会長、民生委員、地域包括支援センター、ご家族それにデイ、ホーム管理者、施設長である。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	横浜市GH南ブロック会に参加し市の担当者からの情報等を得るようにしている。また、困難事例等への協力をいただいている	横浜市GH南ブロック会に参加し市の担当者からの情報等を得るようにしている。また、困難事例等への協力を頂いている。滝頭地域ケアプラザがには地域福祉施設見学会などを通し協調が出来ている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設のハード面の特性から玄関の施錠は致し方ない状況であるが、身体拘束の定義を理解し実践できるように全体ミーティング内において事業所内研修として組み入れ理解できるようにしている。	施設のハード面の特性で、ビルの2F、3Fなので出入口はエレベーターであり、自由な出入りは出来ないが、外に出たい人には適宜対応することで閉塞感の無いよう支援している。身体拘束の定義を充分理解し実践できるように全体ミーティング内において事業所内研修として組み入れ理解できるよう努めている。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員の代表が研修に参加して得た法律や禁止行為の防止について勉強会を行い、虐待防止に努めている。 ご家族との面会時には直近の状況をご報告しており、ご利用者の体調などの変化に注意して、ご家族のかかわり方等にも配慮している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	代表者が研修に参加して得た知識を共有する機会を持っている。また、利用者が成年後見制度の利用に至る様、必要に応じてキーパーソンに説明し、手続きの説明や書類等の支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約に携わった職員が、ご利用者やご家族の不安が軽減できるように支援を行い、疑問点が解消できるように十分な説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議にご家族への参加を依頼し意見や要望を自由に話し合えるよう努めている。また、出された意見等を事業所運営に反映させている	ご家族には運営推進会議へ参加を依頼し意見や要望を自由に話し合えるよう促している。また、出された意見等は事業所運営に反映させている。職員は、ご家族の来訪時に、親しみやすいよう対応に努め、話しやすい雰囲気努め、ご意見等も聞くようにしている。利用者の意見は後述の思いや意向の把握で意向を把握し対応するようにしている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体ミーティングを月一回実施し、業務改善や行事企画などについて、職員が意見をだし合い取り組んでいる。必要時には日々の業務の中でも申し送り時などに意見、対策案を聞き随時改善を図っている。	月1回、全体ミーティングを実施し、業務改善や行事企画などについて、職員が意見を出し合い取り組んでいる。また、日々の申し送り時等に、職員の意見や対案を汲み取り、随時改善に努めている。必要に応じて個人の面接も実施し、個人的な問題も含めて支援している。面接は個人別の目標である「現状と未来」をベースに実施している。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に二回の直属上司との面談の機会を設けており、自己目標と達成度の確認や今後の方向性等を確認しながら指導している。また個々の要望等も聞きながら職場環境の改善に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内での各役割分担等を職員個々の力量に合わせて委任し、勤務調整を行い事業部研修への参加を推奨し意識付けを促している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜市GH連絡会への参加を行い、相互研修の機会を確保してネットワーク作りを行えるようにしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居相談の折にはご本人との直接面談を行うようにして、不安を取り除けるよう「働きかけている。入居後にはご本人の気持ちを尊重しながら、職員間で情報を共有することで入所後の生活に安心が得られるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談を受けた段階で、ご家族の不安、疑問、要望等に対してホーム側で対応可能な事柄の説明を行い相互に理解できる関係づくりに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	随時に必要としているサービスを見極め提供できるよう、ご本人ご家族から要望を聞き、広い視野でサービス提供が行えるよう努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	暮らしを共にする人生の先輩として敬愛し残された能力が最大限に活かされ維持できるよう職員は努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事への参加を案内しご本人との親交を深められる場の提供に努めている。月一回のお手紙にてご利用者のご様子をご家族にお伝えしており支援の面で協力していただき良好な関係を築ける様に努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親族を含めご友人等の面会受け入れ、気軽に訪問していただけるように支援している	ご利用者の馴染みの方の来訪は、温かく迎え、施設の行事やアクティビティ、お茶等にお招きし、施設に親しんで頂けるように配慮に努めている。ご近所の方が比較的多いので、面会の人も多い。俳句のボランティアで来てくれている人が利用者の知り合いで、偶然の再会と云ったケースもあり、地域のグループホームとしての良さが感じられる。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者同士の相性を考慮した上で共有スペースでの座席の案内を行い、トラブルを防ぐ事ができるように行動の把握を行い支援に努めている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後の相談など申し出のあった際は応じ可能な支援をしている		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時および入居後も継続してご本人の希望に添えるように状況に把握を行い、ご本人本位に検討し支援している。	入居時及び入居後も継続してご本人の希望に添えるように状況に把握を行い、ご本人本位に検討し支援している。一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め、日々の言葉を大切に捉え、気付きやコミュニケーションに配慮している。日頃の行動や発言は個人記録、業務日誌、申し送り簿、経過支援記録に記録し、利用者の思いの把握に努めている。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご本人およびご家族から情報を集めて把握できるように努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居以前の生活パターンも含めて日々の状態の変化を把握するように努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回のケースカンファレンスにて現状の把握と改善の方向性を話し合い、必要に応じてご家族への相談や提案を行っており、介護計画書に反映させている	月1回のケースカンファレンスにて、個人記録、業務日誌、申し送り簿、経過支援記録などを活用して現状の把握と改善の方向性を話し合い、必要に応じてご家族への相談や提案を行い、介護計画書に反映させている	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状態の変化を個別に記録を行い、閲覧及び、毎朝の申し送り等で情報を共有し介護計画の見直しに役立っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	随時に生じるご本人及びご家族のニーズに対して情報を得た段階で職員間で共有を行い、多機能的に応じられるよう取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアとの接触や民生委員を通じてご本人の望む豊かな暮らしを得られるよう支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望に応じて法人内クリニックの訪問診療システムをご案内したり在宅時に利用の診療機関又は専門医への受診時の対応や報告書の作成を行い支援している	希望に応じて法人内クリニックの訪問診療システムをご案内したり、在宅時に利用の診療機関、又は専門医への受診時の対応や報告書の作成を行い支援している。かかりつけの主治医に通う方には、本人の状態を報告し、必要があれば医師に相談して頂くよう支援している。訪問歯科（週1回）、訪問マッサージ（週2回）も来ており、希望者は利用している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週の看護師の訪問時に利用者さんの状態の変化を報告し、随時に適切な指示を受けられるように支援している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院が発生し10日ほどの期間で先の見通しをお聞きする機会を設け退院後の受け入れ等の目安にできるよう努めており、地域医療連携室との関係作りを行っている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に指針を示し説明の上で、同意を得ている	重度化した場合や終末期のあり方について、医療連携体制を敷き、本人・家族・医師・職員と話し合う機会を設け、看護師との密なる連携と、過去の経験を活かしながら、強い連携体制の中で支援していくよう努めている。入居契約時に指針を示し説明の上で、同意を得ている。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員全体のミーティングにおいて初期対応の説明を行うと共に、協力医療機関の対応マニュアルを周知している		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	震災の経験を踏まえて職員の意識付けを行い、避難訓練の実施と運営推進会議において地域との連携体制を取れるように話し合いを行っている	施設全体の避難訓練を実施している。また地域の方々にも協力頂き、夜間想定避難訓練を行なっている。備蓄庫の設置があり備えに万全を期している。震災の経験を踏まえて職員の意識付けを行い、避難訓練の実施と運営推進会議において地域との連携体制を取れるように話し合いを行っている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人ひとりを人生の先輩として敬い個々の人格を尊重した言葉掛けや対応を行っている	利用者一人ひとりを人生の先輩として敬い、個々の人格を尊重した言葉掛けや対応を行っている。誇りやプライバシーを損ねない言葉かけに努めている。また、勉強会で研鑽を図っている。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の様々な場面で自己決定できるように働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の業務の流れに囚われず、お一人ずつの希望に沿うように支援を行っている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日の整容と衣類の選択等に個性が感じられるように支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の下ごしらえや後片付け等に参加していただいております、食事時間のBGM等の環境に配慮している	昼食は併設のデイサービスからのデリバリーを利用し、朝夕のメニューを職員が考え、利用者の意見も伺いながら一緒に買い物に行き、調理している。食事の下ごしらえや後片付け等に参加して頂いており、食事時間を楽しく穏かに食べられるようBGM等を流し、食事環境に配慮している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	嚥下や咀嚼の状態により常食や刻み食で提供を行い、水分等にも必要に応じてとろみ付けを行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご本人の自立度により誘導や介助を行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者個々の身体状況に応じて随時下着の調整と誘導を行っており、ご本人の排泄の感覚や行動が維持できるように支援している	排泄については、利用者個々の身体状況に応じて随時下着の調整と誘導を行っている。本人の排泄の感覚や行動が維持できるように支援している。必要な方に対しては、オムツ使用の場合でも定時にトイレを誘導を行い支援している。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄のチェック表で管理を行い、個別のパターンを把握した上でセンナ茶の服用を促し便秘の予防と解消に取り組んでいる		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	体調の把握を行い基本的に一日おきでの案内をしており、個々の好みに応じられるよう努めている	入浴は1日おきの入浴を目安に、入浴の支援を行なっている。(毎日希望の人もいる)ご利用者の希望を尊重し、一人ひとりに合った入浴の援助を行なっている。マッサージを火曜、土曜に受入れているので、マッサージの利用者はその日以外に入浴を行なっている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の自主性を尊重して過ごしていただけるように支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬内容の理解に努め、薬剤の管理と服薬の支援を行っている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の趣味や嗜好に沿う支援を行っている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ハード面の規制があり自由な出入りは不可能ではあるが、極力希望に添えるように努めており、ご家族にも協力していただいている	ハード面の制約があり自由な出入りは不可能ではあるが、極力希望に添えるように努めており、ご家族にも協力して頂いている。近隣の散歩はお天気が良ければ毎日でも出かけている。外のイベントにも参加し、ホームセンターに出かけることもある。買い物等の希望者には、出来る限り職員が付き添い、出かけられるよう支援している。遠出の場合は、デイの大型の車が借りられるので、利用してドライブに行っている。外食には、ファミリーレストランや喫茶店に行くこともある。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の希望に沿った管理方法を提示して支援している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があった時に随時に対応を行っている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間でのトラブル回避の為、観葉植物を用いた視線回避や生活臭の拡散防止のための消臭剤等を手作りして工夫をしている	共有空間でのトラブル回避の為、観葉植物を用いた視線回避や、生活臭の拡散防止のための消臭剤等を手作りして工夫をしている。空間には、季節ごとのお花をや装飾等で季節感を演出し、ご利用者が楽しめる空間作りに配慮している。インテリアは理事長のポリシーの一つであり、センスの良いインテリアの施しがされている。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル席の位置を考慮し、移動の際は自由にくつろげる空間の工夫をしている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室のしつらえはご本人とご家族の意向に沿って整えており、必要に応じてアレンジしている	居室の配置等はご本人とご家族の意向に沿って整えており、必要に応じてアレンジしている。側壁にはセンスの良い飾り棚があり、クローゼットが設置されており、居心地よく過ごせる様に工夫している。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各居室の入り口に名札を掲示してご自分の部屋がわかるように支援し、共有フロアの壁面にカレンダー及びメニュー等を掲示して自由に見られるようにしている		

事業所名	銀らんの丘
ユニット名	3 F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	カンファレンス等で理念の読みあわせを行い、支援の指針となるよう意識付けている。折に触れ理念のもつ意味の説明を行い共通理解し実践につなげられる様に働きかけを行っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の商店を利用し、公園への散歩等で顔なじみの関係作る様にしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域ケアプラザの施設見学会の受け入れを行い、その際の質問等にお応えしながら認知症への理解を促し、施設利用への抵抗感が軽減されるように働きかけを行っている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を定期的に行えるように努力している。施設自体や高齢者支援に関する質問に対してお応えしながらご意見いただいたことを現場に反映させていくよう努力している		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	横浜市GH南ブロック会に参加し市の担当者からの情報等を得るようにしている。また、困難事例等への協力をいただいている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設のハード面の特性から玄関の施錠は致し方ない状況であるが、身体拘束の定義を理解し実践できるように全体ミーティング内において事業所内研修として組み入れ理解できるようにしている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員の代表が研修に参加して得た法律や禁止行為の防止について勉強会を行い、虐待防止に努めている。 ご家族との面会時には直近の状況をご報告しており、ご利用者の体調などの変化に注意して、ご家族のかかわり方等にも配慮している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	代表者が研修に参加して得た知識を共有する機会を持っている。また、利用者が成年後見制度の利用に至る様、必要に応じてキーパーソンに説明し、手続きの説明や書類等の支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約に携わった職員が、ご利用者やご家族の不安が軽減できるように支援を行い、疑問点が解消できるように十分な説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議にご家族への参加を依頼し意見や要望を自由に話し合えるよう努めている。また、出された意見等を事業所運営に反映させている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体ミーティングを月一回実施し、業務改善や行事企画などについて、職員が意見をだし合い取り組んでいる。必要時には日々の業務の中でも申し送り時などに意見、対策案を聞き随時改善を図っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に二回の直属上司との面談の機会を設けており、自己目標と達成度の確認や今後の方向性等を確認しながら指導している。また個々の要望等も聞きながら職場環境の改善に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内での各役割分担等を職員個々の力量に合わせて委任し、勤務調整を行い事業部研修への参加を推奨し意識付けを促している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜市GH連絡会への参加を行い、相互研修の機会を確保してネットワーク作りを行えるようにしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居相談の折にはご本人との直接面談を行うようにして、不安を取り除けるよう「働きかけている。入居後にはご本人の気持ちを尊重しながら、職員間で情報を共有することで入所後の生活に安心が得られるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談を受けた段階で、ご家族の不安、疑問、要望等に対してホーム側で対応可能な事柄の説明を行い相互に理解できる関係づくりに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	随時に必要としているサービスを見極め提供できるように、ご本人ご家族から要望を聞き、広い視野でサービス提供が行えるよう努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	暮らしを共にする人生の先輩として敬愛し残された能力が最大限に活かされ維持できるよう職員は努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事への参加を案内しご本人との親交を深められる場の提供に努めている。月一回のお手紙にてご利用者のご様子をご家族にお伝えしており支援の面で協力していただき良好な関係を築ける様に努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親族を含めご友人等の面会受け入れ、気軽に訪問していただけるように支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者同士の相性を考慮した上で共有スペースでの座席の案内を行い、トラブルを防ぐ事ができるように行動の把握を行い支援に努めている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後の相談など申し出のあった際は応じ可能な支援をしている		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時および入居後も継続してご本人の希望に添えるように状況に把握を行い、ご本人本位に検討し支援している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご本人およびご家族から情報を集めて把握できるように努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居以前の生活パターンも含めて日々の状態の変化を把握するように努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回のケースカンファレンスにて現状の把握と改善の方向性を話し合い、必要に応じてご家族への相談や提案を行っており、介護計画書に反映させている		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状態の変化を個別に記録を行い、閲覧及び、毎朝の申し送り等で情報を共有し介護計画の見直しに役立てている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	随時に生じるご本人及びご家族のニーズに対して情報を得た段階で職員間で共有を行い、多機能的に応じられるよう取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアとの接触や民生委員を通じてご本人の望む豊かな暮らしを得られるよう支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望に応じて法人内クリニックの訪問診療システムをご案内したり在宅時に利用の診療機関又は専門医への受診時の対応や報告書の作成を行い支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週の看護師の訪問時に利用者さんの状態の変化を報告し、随時に適切な指示を受けられるように支援している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院が発生し10日ほどの期間で先の見通しをお聞きする機会を設け退院後の受け入れ等の目安にできるよう努めており、地域医療連携室との関係作りを行っている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に指針を示し説明の上で、同意を得ている		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員全体のミーティングにおいて初期対応の説明を行うと共に、協力医療機関の対応マニュアルを周知している		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	震災の経験を踏まえて職員の意識付けを行い、避難訓練の実施と運営推進会議において地域との連携体制を取れるように話し合いを行っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人ひとりを人生の先輩として敬い個々の人格を尊重した言葉掛けや対応を行っている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の様々な場面で自己決定できるように働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の業務の流れに囚われず、お一人ずつの希望に沿うように支援を行っている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日の整容と衣類の選択等に個性が感じられるように支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の下ごしらえや後片付け等に参加していただいており、食事時間のBGM等の環境に配慮している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	嚥下や咀嚼の状態により常食や刻み食で提供を行い、水分等にも必要に応じてとろみ付けを行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご本人の自立度により誘導や介助を行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者個々の身体状況に応じて随時下着の調整と誘導を行っており、ご本人の排泄の感覚や行動が維持できるように支援している		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄のチェック表で管理を行い、個別のパターンを把握した上でセンナ茶の服用を促し便秘の予防と解消に取り組んでいる		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	体調の把握を行い基本的に一日おきでの案内をしており、個々の好みに応じられるよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の自主性を尊重して過ごしていただけるように支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬内容の理解に努め、薬剤の管理と服薬の支援を行っている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の趣味や嗜好に沿う支援を行っている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ハード面の規制があり自由な出入りは不可能ではあるが、極力希望に添えるように努めており、ご家族にも協力していただいている		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の希望に沿った管理方法を提示して支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があった時に随時に対応を行っている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間でのトラブル回避の為、観葉植物を用いた視線回避や生活臭の拡散防止のための消臭剤等を手作りして工夫をしている		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル席の位置を考慮し、移動の際は自由にくつろげる空間の工夫をしている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室のしつらえはご本人とご家族の意向に沿って整えており、必要に応じてアレンジしている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各居室の入り口に名札を掲示してご自分の部屋がわかるように支援し、共有フロアの壁面にカレンダー及びメニュー等を掲示して自由に見られるようにしている		

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム  
銀らんの丘

作成日

平成23年11月18日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	29	地域ボランティアがデイサービスに来院したときに参加させていたがグループホーム独自では機会が少ない	グループホーム単独へのボランティアの招致	地域コミュニティーへの働きかけを行う	6ヶ月
2	18	ハード面でのエレベーターと玄関部分の暗証番号等の規制があり自由な出入りができ難い	利用者の申し出があった時には自由に外出支援ができるようにする	職員の体制を整え、外出支援への意識付けを行う	12ヶ月
3					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。